

## 私の日常生活：住について

アンドリュー・イキ （パプアニューギニア）

### 〇はじめに

世界の国ぐにの人が、お互いにそれぞれの国の日常生活について知るのには興味深いことです。この短いレポートでは、美しいパプアニューギニアにおける「私の日常生活：住について」書きたいと思います。この国は人口約 650 万人、南太平洋最大の島嶼国です。パプアニューギニアは多様な文化を擁し、地域ごとに生活環境が大きく異なります。こういったことから、南太平洋、ひいては世界の中でもパプアニューギニアは類の無い国と言えるでしょう。

パプアニューギニアは、ハイランド、モマス、サザン、ニューギニア島の 4 つの地域に大きく分けられます。私は、急流河川と深い熱帯雨林の山岳地帯があるハイランドの出身です。ハイランド地域は、莫大な量の金、銅、石油、ガスが埋蔵していることで有名です。

慣習が深く根付いている一部の地域では、男性にとっても女性にとっても、あるいは子どもにとってもジェンダーは非常に重要です。ハイランド地域では、女性が男性の家に入ることや意思決定に加わることは許されません。一方、沿岸地域ではこれと異なり、女性が意思決定をし、相続人として財産を受け継ぐことができます。

人は、住む土地をその環境によって選んできました。古来、人びとは灌木で造った家に住み、昔からの手法で庭造り、狩猟、漁、料理、子育てをしてきました。しかし、西洋の影響を受けて、多くの地域で生活環境が変化し、政府がインフラ・サービスを提供するようになって、人びとは半恒久的な家屋に住むようになりました。

開発途上国に暮らしてきて、私は、多くの地域で起きている様々な変化を経験してきました。若者が生まれた土地を離れ、職を求めて都市に流入するという、離農離村問題が生じています。けれども、不法定住者の居住が増えつづけている都市は、安全な場所ではありません。さらに、貧困、売春、失業、犯罪、HIV/AIDS、健康問題などの社会経済問題の増加ももたらされました。

私が生活し、仕事をしているパプアニューギニアの首都には、様々な土地や国からの人々が生活し、働いています。他の国々と同様、この国でも、住宅と生活環境は大きな問題です。私は、遊んだり庭いじりをしたりできるよう、山パパイアの木のある裏庭のついた、2ベッドルームの家を購入しました。

週末には、その小さな裏庭で家族や友人と大いに遊びます。周囲はさほど密集しておらず、とても静かです。家を素敵に見せてくれるので、様々な美しい花を育てています。

家にいる時は、庭いじりや裏庭の掃除に忙しくしています。そうすることは、住環境をより安全にし、住みやすい家にするることになります。住環境を安全にする方法を身につけてさえいれば、どんな土地にでも順応することができるのです。

## ○結論

パプアニューギニアは南太平洋最大の島嶼国で、多様な文化を擁しており、地域ごとに生活環境が異なります。このことが、この国を南太平洋でも世界でも比類ない独特な国にしています。

昔、人びとは伝統的な家に住み、昔からの手法を用いて庭造り、狩猟、漁、料理、子育てをしてきました。しかし、西洋の影響を受けて多くの地域の生活環境は変化し、人々は、外国の物品やサービスを取り入れた半恒久的な家屋に住むようになりました。

そのため、多くの若者が生まれた土地を離れ、職を求めて都市に流入するという離農離村問題が生まれ、そのことが、失業、貧困、犯罪、売春、HIV/AIDSや、関連の社会経済問題の増加につながり、都市の生活環境に暮らす人々に大きな影響を及ぼしています。

人びととその生活環境に影響を及ぼしている問題はこのように多々ありますが、私自身はなんとかシンプルな生活を送り、私も家族も幸せで楽しい生活を送れる生活環境を作ることができています。